

プレシャス・ピアノ・コレクション1【中級～上級編】

1. ケ・セラ・セラ／ドリス・デイ

SMFあり ★★★★★☆☆

オリジナルはドリス・デイの歌で、1950年代にヒットしました。近年もアニメ映画やテレビCMなどに使われ親しまれています。「ケ・セラ・セラ」とは、「なるようになる」という意味のスペイン語に由来し、悩まずポジティブに、といった意味でとらえられることが多いようです。歌詞を知るとはとても大切ですので、ペギー葉山や雪村いづみなどの日本語バージョンも、ぜひ聴いてみてください。演奏での一番のポイントは、肩の力を抜いて明るく楽しく3拍子に乗って弾くことです。3拍子をしっかりと感じていれば、多少遅めのテンポでも雰囲気を出せるでしょう。スラーとスタッカートをきちんと弾き分けて、メリハリを付けることも意識しましょう。[G]1～4小節は、ペダルを上手に使って音が切れないように響かせましょう。

2. Bix Beiderbecke／PE'Z

SMFあり ★★★★★☆☆

教養エンターテインメント番組『探検バクモン』テーマ曲。ジャズをベースとしながらもロックやラテンの要素を取り入れた豪快なサウンドが魅力です。アップ・テンポのスウィング・ジャズ風の曲ですが、ビートを強く出した現代的な躍動感を活かして演奏しましょう。イントロのフレーズをはじめ、全体に音の長短の区別やキレが非常に大切です。メロディーのアーティキュレーションでは、スウィングのグルーブを感じつつ、ある程度自由な感覚を持った歌い方ができればベストです。アドリブ（E）の後、Fで譜面とミュージックデータはテーマに戻ります。譜面通りにメロディーを演奏しても良いですが、少しフェイク（装飾）をしたり、アドリブを続行してバンドに絡んでもおもしろいでしょう。

3. 証（あかし）／flumpool

SMFあり ★★★★★☆☆

4人組の人気ロックバンド flumpool が「仲間」をテーマに書き下ろしたバラードで、第78回（平成23年度）NHK全国学校音楽コンクール・中学校の部課題曲として採用されました。ここでは、課題曲の合唱バージョンではなく、原曲に基づいてピアノ・ソロにアレンジしてあります。[Intro]は、半音で下降するベースラインを意識しながら、落ち着きを持って弾き始めましょう。[A]～[B]は語りかけるようなイメージで。内声や合間のフレーズの音量を抑えてメロディーをしっかりと浮き立たせてください。[C]のサビへは、十分に音量を上げた状態で入りましょう。[D]でいったん音量を落とした後は、一転してフォルティッシモで高ぶった感情をぶつけるように演奏して盛り上げましょう。

4. 煙が目にしみる／ザ・プラターズ

SMFあり ★★★★★☆☆

ミュージカル『ロバート』挿入曲として1933年に発表されましたが、後のザ・プラターズのバージョンがよく知られ、現在ではジャズのスタンダード・ナンバーとして定着しています。ここではややクラシカルな、ラウンジ・ピアノ風のアレンジで掲載しました。スローなテンポとロマンティックなメロディーを活かし、きっちりと正確にというよりも、肩の力を抜いて、一定のテンポの中である程度のタメや揺れを伴った雰囲気でも演奏すると良いでしょう。スローな4ビートでの、「4分音符の各拍の中を自由に感じる」フィーリングがポイントとなります。強弱表現についても、譜面に書かれていない自然な変化をフレーズに合わせて作ると、なお魅力的になるでしょう。

5. ALWAYS 三丁目の夕日 Opening Title／佐藤直紀

★★★★★☆☆

人情味あふれる昭和の下町の人間模様を描いた映画シリーズのテーマ曲です。映画の世界と同様のノスタルジックな空気を感ぜさせ、また短い中にも大きなドラマを織り込んだ美しいピアノバラードとなっています。ゆったりとしたテンポで、響きを十分に味わいながら、じわじわと訪れる盛り上がり意識して演奏してみましょう。[C]からメロディーがオクターブとなり音の厚みが増しますが、ここはむしろ音量を抑えめにし、[D]からのクレッシェンド、さらに[E]のクライマックスを際立たせることがポイントです。右手と左手に受け渡される対旋律的なフレーズはキレイにつながるように、また主旋律とのバランスをうまく取れるように練習しましょう。

6. あなたに愛されたいのに ～映画『お熱いのがお好き』より／マリリン・モンロー

SMFあり ★★★★★☆☆

1959年の映画『お熱いのがお好き』の中でマリリン・モンローが歌った、歌手としての彼女の代表曲ともいえる曲で、「ブ・ブ・ピ・ドゥー」という決めの詞でおなじみです。彼女のかわいらしい歌い方と、昔のジャズ風ののんびりとしたサウンドをイメージして、表情たっぷりに演奏しましょう。メロディーのフレーズにおける強弱の付け方だけでなく、時折現れるブレイク（休符）で素早いなすようにして、「しなを作る」ことも大変効果的です。それぞれのフレーズに応じた音の長さや、休符の意味をよく味わいましょう。左手の2ビートのアルペジオ、4ビートのウォーキング、ストライドの使い分けが曲のメリハリや盛り上がり表現していることに注目しましょう。

7. TAKUMI/匠／松谷卓

SMFあり ★★★★★☆

作曲家・ピアニストである松谷卓の名が広く知られるきっかけとなった、TV番組『大改造！！劇的ビフォーアフター』挿入曲。親しみやすいメロディーをシンプルに繰り返しながら、1曲を通して徐々に高揚していく構成です。ピアノパートの大半はアルペジオを用いたレガートの曲調ですが、そのバックには常に3連符のポレロのリズムが流れており、これが徐々にクレッシェンドして曲を次第に盛り上げています。右手の和音の重ね方や左手の伴奏形は少しずつ変化し、各場面ごとに弦楽器や打楽器などさまざまなパートの音を表現していることを意識してみてください。[F]からはポレロのリズムが左手に現れ、クライマックスへと繋がります。

8. Rolling In The Deep／アデル

SMFあり ★★★★★☆

2012年のグラミー賞で最優秀楽曲賞をはじめ6部門を獲得した、イギリスのシンガーソングライター、アデルのヒット曲です。[Intro]～[A]の左手は、ロックでよく使われる伴奏スタイルの、いわゆる「パワー・コード」（ここではC(5)などと表記)を用いています。コードトーンの3度音を抜いた、インパクトのあるサウンドが特色です。また[A]の後半では、ベースの役目である低音側の2音に重心を置き、親指側は軽くスタッカートで鳴らすように工夫しましょう。[C]の右手は、メロディーと下のパート(コーラス)とのバランスをよく取って立体的な効果を演出しましょう。[E]は、原曲にはないアドリブを加えてアレンジしてあります。ここは遊び心を持って、楽しんで弾いてみましょう。

9. 小舟にて～「小組曲」より／C.ドビュッシー

SMFあり 益益益益益

ピアノ4手連弾のための「小組曲」は、ドビュッシー初期の頃の作品です。後年、友人のアンリ・ビュッセルによって管弦楽用に編曲され、広く知られるようになりました。それぞれに副題の付いた4つの小品からなり、どの曲も印象派の入口ともいえる親しみやすい作風です。第1曲「小舟にて」は、左手のアルペジオの伴奏に乗ってバルカローレ風の美しいメロディーが奏でられます。静かに寄せる波をイメージしながら優雅に演奏しましょう。全体に色彩感豊かな演奏を心がけてください。管弦楽編曲版がピアノでの表現のヒントになるでしょう。

10. アイ・ウィル・フォロー・ヒム ～映画『天使にラブソングを...』より／J. W. ストール、D.ローマ

SMFあり 益益益益益

1992年のアメリカ映画『天使にラブ・ソングを...』の劇中で使用された人気曲ですが、もとはフランク・パウセルとポール・モーリアが変名で発表したインスト曲で、1960年代から多くの歌手に歌われてきたオールディーズの定番曲。ここでは、聖歌隊風の美しいイントロに始まり、[C]冒頭の力強いピアノをきっかけにゴスペル・コーラスで盛り上げる構成となっています。[Intro]～[B]は力を抜いて厳粛な雰囲気、特に低声部が主旋律となるところではバランスに注意しましょう。[C]からは「I love him」というリフレインのアーティキュレーションが非常に大切です。右手が2拍3連符となるところでは、あくまでも左手によるリズムのキープを優先し、テンポが揺れないように気をつけましょう。

11. ボラーレ／ジプシー・キングス

SMFあり 益益益益益

ジプシー・キングスによるCM曲でお馴染みですが、原曲は1958年のサンレモ音楽祭をきっかけに世界的にヒットし、第1回グラミー賞で入賞したイタリアン・ポップス「Nel blu dipinto di blu(青く塗られた青の中で)」です。「飛べ！歌え！青い空の中、太陽よりも高く」という、底抜けに明るい歌詞を持っています。ここではジプシー・キングス版のアレンジで、まず冒頭[A]はギターの手弾きをイメージした伴奏とともに、テンポを揺らしてたっぶり歌います。[B]の直前でのミュージックデータのパーカッションを合図に、陽気なテンポに乗って走り出しましょう。これ以降、各セクションごとの左手の伴奏形をそれぞれ十分に弾き込んでリズムに慣れることが大切です。リズムに気持ち良く乗れたら、メロディーは逆に長い呼吸で朗々と弾けるように練習しましょう。

12. 子供の凱歌(Child's Anthem)／TOTO

SMFあり 益益益益益

オリジナルは米国のロックグループ、TOTOのファーストアルバムの1曲目に収録されたインスト・ナンバーで、デイヴィッド・ギャレットのヴァイオリンによるカバーはテレビCM曲に採用されました。ここではオーケストラをバックにしたドラマチックな演奏となっています。全体を通して力強いシャッフルのビートを刻みながらクラシカルな和音で進行していきます。[A]は何かが始まる予感をイメージし、クレッシェンド/デクレッシェンドでメロディーのうねりを表現しましょう。3連符のアルペジオはスピード感を出しつつ、指先のコントロールによって大きなメロディーの流れを出してください。一方、[Intro]、[B]、[E]のキメはパワフルに、固めのタッチできっちりとまとめます。Freelyとなる[D]では[C]より音域を広げ、さらにダイナミックさを出していきましょう。

13. 交響組曲「シェヘラザード」第3楽章「若き王子と王女」より/N.リムスキー=コルサコフ

益益益益益

『アラビアン・ナイト（千一夜物語）』の語り手、シェヘラザードの物語をテーマにした交響組曲「シェヘラザード」は独立した4つの楽章からなり、どの曲もエキゾチックなメロディーの美しさにあふれています。ここでは第3楽章「若い王子と王女」より、有名なテーマをピアノ・ソロで掲載しました。ロシア5人組の1人で、“近代管弦楽法の父”と言われるリムスキー=コルサコフの巧みなオーケストレーションの技を十分に味わいながら、原曲をよく聴いて研究してみましょう。ピアノ1台でそれらをいかに表現できるかがポイントとなります。Bの右手の細かい音符は、音が立ち過ぎないように指先の面積を広く使って弾くと良いでしょう。

14. ボーン・ディス・ウェイ/レディー・ガガ

SMFあり

益益益益益

レディー・ガガの大ヒット曲で、ダンス・ビートを基本としたリズムに力強いメロディーを乗せたパワフルなメッセージにあふれる曲です。原曲でメロディーがなくビート主体となるイントロや間奏部分などは、この譜面ではピアノアレンジとして独自のメロディーを創作して掲載しています。Introなどの跳躍の大きなメロディーは、4、5の指を大きく動かすことを意識しましょう。AやBなどの途中で現われる合いの手的なフレーズは、リズムが狂わないよう正確に弾いてください。続くC~Dでは力強く、ロックの雰囲気を出して押しまくるのが心地よいでしょう。オクターブを含む和音、A#音とA音（9th）を含む和音などのフォームをしっかりと作ることがコツです。

15. I am/森田真奈美

SMFあり

益益益益益

アメリカ在住のジャズピアニスト、マナミ・モリタのオリジナルで、ニュース番組『報道ステーション』テーマ曲に採用された楽曲です。マナミ・モリタのトリオによるはじけるような演奏が印象的です。ここではTVバージョンをもとに、新たにアドリブ・セクションを加えた構成でアレンジしました。テーマ、ソロともに形式に縛られない破天荒でエネルギッシュな展開が特徴的です。アドリブ部分は、彼女らしいポリリズム的なフレーズを多く用いています。Freelyの後半でテーマのメロディーに戻りますが、ここにフェイクや独自のアドリブを加えても良いでしょう。速いフレーズはアクセントを付ける音とそれに付随する音、といった具合に軽重を付けることで楽に弾けるでしょう。軽重の付け方がジャズピアノとしての演奏者の個性ともなります。

16. ヴァイオリン協奏曲 二長調 第1楽章より/P.I.チャイコフスキー

益益益益益

チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲は、ベートーヴェン、ブラームス、メンデルスゾーンの作品とともに“4大ヴァイオリン協奏曲”とも称され、広く親しまれています。ここでは第1楽章の一部を、華やかなピアノ・ソロで掲載しました。コンサート・ホールでの演奏をイメージしながら堂々と演奏してください。A9小節目から始まる左手の8分音符の連打は、最初はノン・ペダルで入り、次第にペダルを加えながら広がり表現していくと良いでしょう。Cからは内声のフレーズも美しく歌いましょう。全体にヴァイオリン特有の奏法を意識しながら演奏することも大切ですが、そこへピアノならではの表現をいかに加えていくかがポイントです。魅力的な演奏となるよう、弾き方を研究してみましょう。

17. おいしい水/A.C.ジョビン

SMFあり

益益益益益

A.C.ジョビンとV・ヂ・モライスの黄金コンビによるボサノバのスタンダードとして親しまれているこの曲は、2人が飲んだブラジリアの泉の湧き水のおいしさにインスピレーションを得て作られたとされています。多くのアーティストに演奏されていますが、ここでは、ジョビン自身と歌手のアストラッド・ジルベルトによるバージョンを参考にしたオリジナルアレンジとなっています。演奏では、全体を通してペダルの使い方に気を配ることがポイントです。ボサノバとしてのリズムのキレを出しつつ、メロディーの滑らかさも失わないように音の響きに注意深く耳を傾け、フレーズごとにペダルを上手に使いましょ。フレーズの一部の音に重ねられる和音の刻みは、アタックの付け方を意識して効果的に鳴らしましょう。

18. 平清盛 テーマ曲/吉松隆

SMFあり

益益益益益

戦乱を生き抜いた武将の生涯を1曲に凝縮したかのようなドラマチックな作品で、冒頭と最後の部分は平安時代の歌謡の「遊びをせんとや生まれけむ」という一節がモチーフとなっています。この童心に満ちたテーマから疾走、戦い、栄華を表現する部分へと展開していきます。なお原曲では、この譜面のA~Bに相当する部分のピアノ・ソロをピアニスト館野泉が左手のみで演奏しています。激しいC、E~Fは、フィーリングとしてはロックを思わせる要素があります。左手のリズムは打楽器と考え、アタックを付けて正確で強いビートを出しましょう。頻繁に使われるテンションの多い和音は、十分な厚みを出して弾くことが必要です。Aの左手の例のように親指で2音を押さえる運指や左右の手での分担など、それぞれの箇所ですっきりと弾きやすいように工夫すると良いでしょう。